

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2014-43243(P2014-43243A)

【公開日】平成26年3月13日(2014.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-013

【出願番号】特願2013-254251(P2013-254251)

【国際特許分類】

B 6 0 T 8/00 (2006.01)

B 6 0 T 7/12 (2006.01)

B 6 0 T 8/17 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 8/00 Z

B 6 0 T 7/12 A

B 6 0 T 8/17 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月3日(2014.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ブレーキペダルの操作により進退移動する入力部材と、前記入力部材に対して移動可能に配置されたピストンと、前記ピストンを進退移動させる電動モータとを備え、前記ブレーキペダルによる前記入力部材の移動に応じて前記電動モータを作動させて前記ピストンに推力を発生させてマスターシリンダ内にブレーキ液圧を発生させるブレーキ制御装置であって、

前記ブレーキペダルの操作量に基づいて前記入力部材と前記ピストンとの相対変位について目標相対変位を設定し、これらの相対変位が前記目標相対変位となるように前記電動モータの作動を制御する相対変位制御手段を備え、

該相対変位制御手段は、前記ブレーキペダルの一定の操作量に対して設定される前記目標相対変位を前記ブレーキペダルの踏込時よりも解放時のほうが大きくなるように設定することを特徴とするブレーキ制御装置。

【請求項2】

前記相対変位制御手段は、前記ブレーキペダルの踏込時から解放時に移行するときに、前記目標相対変位の変化を緩やかに設定することを特徴とする請求項1に記載のブレーキ

【請求項3】

前記ブレーキペダルが踏込まれた後、解放されたとき、前記ピストンの位置が一時的に保持されるように前記目標相対変位を設定することを特徴とする請求項1または2に記載のブレーキ制御装置。

【請求項4】

ブレーキペダルの操作により進退移動する入力部材と、前記入力部材に対して移動可能に配置されたピストンと、前記ピストンを進退移動させる電動モータとを備え、前記ブレーキペダルによる前記入力部材の移動に応じて前記電動モータを作動させて前記ピストンに推力を発生させてマスターシリンダ内にブレーキ液圧を発生させるブレーキ制御装置であって、

前記ブレーキペダルの操作量に基づいて前記マスタシリンダに発生させるブレーキ液圧の目標液圧を設定し、前記マスタシリンダ内のブレーキ液圧が前記目標液圧になるように前記電動モータの作動を制御する液圧制御手段を備え、

該液圧制御手段は、前記ブレーキペダルの一定の操作量に対して設定される前記目標液圧を前記ブレーキペダルの踏込時よりも解放時のほうが大きくなるように設定することを特徴とするブレーキ制御装置。

【請求項 5】

前記液圧制御手段は、前記ブレーキペダルの踏込時から解放時に移行するときに、前記目標液圧の変化が滑らかになるように設定することを特徴とする請求項 4 に記載のブレーキ。

【請求項 6】

前記ブレーキペダルが踏込まれた後、解放されたとき、前記マスタシリンダ内のブレーキ液圧が一時的に保持されるように前記目標液圧を設定することを特徴とする請求項 4 または 5 に記載のブレーキ制御装置。